

# 名 誉 市 民 一 覧 表

登録番号	表彰日	氏 名	功績
第 1 号	昭和 37 年 1 月 8 日	サムエル・E・サックス	渇水期における飲料水の給付、市内各学校の整地作業、奥武山運動公園前の親善公園の建築等有形、無形の貢献をした。
第 2 号	昭和 39 年 5 月 25 日	當間 重剛	戦前、戦後を通じ、那覇市の助役、市長として都市計画事業の推進、市営住宅の建設、泊港港湾建設の移管による海運貿易の発展を図るなど長年にわたって市民福祉に尽力し、また、琉球政府行政主席として住民生活の向上に貢献した。
第 3 号	昭和 39 年 6 月 4 日	ポール・W・キャラウェイ	琉球列島高等弁務官として那覇市の復興、特に都市計画事業の推進に関心を寄せ、ガープ川の改修工事、上水道等の基本施設をはじめ、公営住宅の建設補助等市民生活の安定向上に尽力し、また、琉米親善委員会を通じて学校施設や備品の拡充を図り、本市の発展に貢献した。
第 4 号	昭和 46 年 3 月 25 日	神山 政良	戦前、戦後を通じて、中央において広く子弟の教育に尽力し、また、沖縄県人会長及び南方同胞援護会評議員として公共の福祉増進や那覇市をはじめ郷土沖縄の復興と祖国復帰推進にも尽力し、市民生活及び文化の向上発展に貢献した。
第 5 号	昭和 56 年 5 月 20 日	屋良 朝苗	温厚篤実かつ清廉崇高にして人格識見ともに優れ、那覇市民はもとより県民からも深く敬愛されている。
第 6 号	昭和 57 年 5 月 20 日	石川 正通	東京において、本県及び本県出身者の子弟教育に尽力し、那覇市民はもとより県民からも深く敬愛されている。
第 7 号	平成元年 5 月 20 日	平良 良松	4 期 9 年余にわたり立法院議員として活躍のあと、4 期 16 年にわたり那覇市長として本市の発展に尽力、那覇市民はもとより県民からも深く敬愛されている。
第 8 号	平成 8 年 5 月 20 日	尚 裕	世界に誇る琉球王国の貴重な文化遺産を保存・管理し本市に贈与、市民文化の創造発展に大きく貢献するなど、市民はもとより県民からも深く敬愛されている。
第 9 号	平成 9 年 5 月 20 日	瀬長 亀次郎	1 期 10 ヶ月にわたり那覇市長として住民自治権の確立、福祉の向上に努め、本市の発展に尽力するとともに、立法院議員 3 期及び衆議院議員 7 期を歴任し住民福祉の向上に貢献するなど、市民はもとより県民からも深く敬愛されている。
第 10 号	平成 9 年 5 月 20 日	西銘 順治	2 期 6 年 9 ヶ月にわたり那覇市長として都市基盤の整備等を図り、本市の発展に尽力するとともに、立法院議員 1 期、沖縄県知事 3 期及び衆議院議員 4 期を歴任し住民福祉の向上に貢献するなど、市民はもとより県民からも深く敬愛されている。
第 11 号	平成 17 年 4 月 26 日 追贈	親泊 康晴	昭和 59 年 12 月から平成 12 年 11 月まで、4 期 16 年の長きにわたり、那覇市長として、公共の福祉の増進、市民生活の向上に大きく貢献し、その功績は卓絶で、市民から深く敬愛され、本市の発展に多大な功績を残した。
第 12 号	平成 30 年 9 月 18 日 追贈	翁長 雄志	平成 12 年 12 月から平成 26 年 10 月まで、4 期 14 年の長きにわたり、那覇市長として、公共の福祉の増進、市民生活の向上に大きく貢献し、その功績は卓絶で、市民から深く敬愛され、本市の発展に多大な功績を残した。